

監査事務局 平成26年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

地方分権の推進に伴い、適切な行財政運営が求められる中、独立した執行機関として公正不偏の立場を保持した監査機能のより一層の充実、強化を図ることが求められています。

市民からの信頼と行財政運営の透明性を確保することが求められていることから、監査の専門性の向上を図るために、積極的に外部研修へ参加し、情報収集に努め、専門性の高い職員の育成の強化に向けた取組を行います。

- (1) 公正で合理的かつ能率的な市の行財政運営確保のため、適正かつ効果的な監査を実施します。

定期監査

市の財務に関する事務の執行について適正かつ効率的かどうか

例月現金出納検査

会計管理者等の保管する現金の在 high 及び出納関係諸表等の計数の正確性を検証し適正かどうか

決算審査

歳入歳出決算等関係諸表の計数の正確性を検証し適正かつ効率的かどうか

健全化判断比率等の審査

健全化判断比率等及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうか

工事監査

行政監査

財政援助団体等に関する監査

住民監査請求に関する監査 等

- (2) 監査委員及び事務局職員の監査技術のスキルアップを図ります。

2. 基本方針・区分別主要事業

公正で合理的かつ能率的な市の行財政運営を確保するため、適正かつ効果的な監査を実施します。

(1) 監査、検査、審査の実施及び監査事務の調査、研修等を実施します。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1		監査事務局運営事業 〔監査課〕	9,907 (9,907)	10,087 (10,087)	市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに市の事務事業の執行について監査を実施

3. 平成26年度予算案における見直し事業一覧

(単位:千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
監査課	監査事務局運営事業 (出張旅費)の見直し	遠隔地における会議が減少したため出張旅費について見直し、予算額を縮小する	△ 129